

三浦半島労福協ニュース69号

2023年9月28日発行
〒238-0006 横須賀市日の出町1-5 ヴェルクよこすか3F 三浦半島地域労働者福祉協議会
発行人：中澤謙介 編集人：許斐正典、篠原恭久

10月1日からフードドライブ（お米一合運動）の強化期間がスタートします！ご協力をお願いします！！

今年度も神奈川県労福協とともに、10月1日～2024年3月末までの期間に『お米一合運動』、『フードドライブ』、強化期間がスタートします。三浦半島労福協の構成組織・団体みなさんにおかれましても、くり返しの要請とはなりますが、引きつづきのご協力をお願い致します。お米が不足していますので『お米一合運動』を優先してお願いします。

「お米一合運動」「フードドライブ活動」のとくみ方法

- まずは、職場・組織等で呼びかけ、お米や賞味期限が2～3ヶ月以上先の食品を集めてください。【お米が不足しています。】
- 集めた食料品を三浦半島労福協・地域連合の諸会議・イベントに参加の際に、届けてください。
- 事務局がそれぞれの事務所等に取りに伺うことも可能です。
- 備蓄食料品の切り替えにともなう寄贈も大歓迎です。事務局にお知らせください。

「フードバンクかながわ」の賛助会員になって、ともに支えませんか？

- 年間会費として、団体は一口20,000円、個人は一口2,000円から会員になることができます。
 - 三浦半島労福協・地域連合は毎年、会議で確認して賛助会員になっています。
- ※ 会員の申し込みについては事務局にお問い合わせください。

三浦半島労福協事務局 046-821-0005

「お米一合運動」にご協力ください

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で「ひとり親世帯・失業者」などの困窮が深刻化しています。とくにシングルマザーの世帯では、収入減により貯蓄を切り崩して生活する方が大勢います。

お米を労働組合に届けて「ひとり親世帯・生活困窮者」を支援しよう！！

「お米一合運動」の流れ

お米一合を袋に入れて → 持ち寄り労働組合へ → 精米・小分け → フードバンクかながわへ → 食品提供 → 地方自治体や地域の支援団体へ → ひとり親世帯・生活困窮者へ

「お米一合運動」の参加方法

- お米一合以上をビール缶やジップロック等に入れてください。
- お米の袋や箱はなるべく無難な状態で届けてください。
- お米は必ず賞味期限を確認し、「フードバンクかながわ」に届けます。
- 「フードバンクかながわ」は、ひとり親世帯を支援する団体・自治体やNPO等の団体と連携しています。
- お米は、賞味期限もなく、「フードバンクかながわ」で再精米するので美味しいお米をお届けします。

取り締り期間 2023年10月1日(日)～2024年3月31日(日)

年末チャリティー、子どもたちに温かい支援を！

三浦半島労福協では、構成組織・団体の皆さんからカンパの協力を頂き、12/24に葉山幸保愛児園へクリスマスケーキを、12/31に鎌倉児童ホームへ年末のお節オードブルを、それぞれプレゼントしています。

この活動は、20年以上続いており、各児童施設からは予算の関係で、十分にイベントが出来ない状況の中、非常に感謝されています。

昨年は6万円を超えるカンパ金が集まり、各児童施設へプレゼントを行うことができました。今年も構成組織・団体の皆さんのご協力を得て、行いたいと思います。

昨年の様子（詳細はQRコードからご覧ください。）

カンパのとくみ方法

- 三浦半島地域連合の次の会議・イベントの際に、受付にてカンパ金を集めます。

- ①10月30日(月) 第8回チャリティー交流会
- ②11月15日(水) 構成組織代表者会議

- どちらにも参加されない構成組織・団体等につきましては、他の諸会議や、事務局等で随時受付させていただきますので、事務局までご連絡ください。





三浦市民ホールにてマグロづくしイベント

23.24 日に渡り4回開催!600 名を超える参加者が満喫!!



70キロのマグロがあっという間に解体され、参加者のお腹に!

70キロのマグロを4回、解体!



マグロの解体に感動!



解体したマグロは参加者のお腹に!



9月23日(土)24日(日)の両日10時30分から12時30分、12時30分から14時30分の計4回、三浦市民ホール(うみぎょうプレイスうらり2階)にて、三浦半島地域連合・労福協共催の『マグロづくし』イベントを開催しました。

新型コロナウイルス前は毎年恒例となっているイベントでしたが、新型コロナウイルスの影響を受けて4年振りの開催となり、一人でも多くの参加出来るよう4回開催としました。1回の開催に約150名、合計で600名を超える参加者が解体ショーを楽しむとともに、マグロのあらゆる部位を食べ満喫しました。

4回ともに主催者代表として三浦半島地域連合及川議長と三浦半島労福協中澤会長の挨拶後に本番スタート、今回も鮪専門店「オーシャン・グロウ」の全面協力で行われ、70キロのマグロを使った解体ショーを詳しい解説付きで行われました。

マグロの解体ショーが始まると参加者は一斉に写真を撮り、日頃あまり見ることのできないマグロの解体を目の当たりにし、会場は大いに盛り上がりました。

解体をしながらマグロに関しての質問コーナーもあり、子どもたちの素朴な疑問にオーシャン・グロウの職員の方が答えてくれました。

解体ショーは約30分、マグロはあっという間に解体され、ブロックに分けられ、参加者に提供されました。

解体されたマグロの刺身以外には、あまり食したことが無い部位の「マグロのから揚げ」「マグロの胃袋のワタ炒め」「たまごの煮つけ」「白ハツのナムル」など普段はなかなか食べることが出来ない部位や料理を満喫し、楽しんでいました。

帰りにはオーシャン・グロウをはじめとした、「うみぎょうプレイスうらり内」のお店で買い物などを楽しむ方も多くいました。新型コロナウイルス感染症法も5類となりましたので、感染対策をとりながら、ここまで封印してきましたが、食を中心とした三浦半島ならではのイベントを今後も行っていきます。

